

第3学年 社会科学学習指導案

1 小単元名 「台東区のうつりかわり」(16時間)

2 小単元の目標

台東区の様子の変り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、聞き取り調査をしたり地図などの資料を調べたりして年表にまとめ、台東区や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え表現することを通して、台東区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解するとともに、学習問題を主体的に追究・解決し、学習したことを基にこれからの台東区の発展のために台東区の一員として自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて、聞き取り調査をしたり地図などの資料を調べたりして読み取り、台東区や人々の生活の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や文章などにまとめ、台東区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。</p>	<p>①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、問いを見出し、台東区や人々の生活の様子について考え表現している。</p> <p>②交通が発達したこと、公共施設ができたこと、人口が変化したこと、仕事の様子や生活の道具が変わってきたことなどを相互に関連付けたり、今後の区の発展を考えたりして、区や人々の生活の様子の変化を考え適切に表現している。</p>	<p>①台東区の様子の変り変わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、これからの台東区がよりよくなってくために必要なことを自分なりに考えようとしている。</p>

4 小単元について

(1) 学習指導要領上の位置付け

本小単元は、学習指導要領に第3学年の内容(4)に基づいて設定する。

(4)市の様子の変り変わりについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア(ア)市や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解すること。

ア(イ)聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして、年表などにまとめること。

イ(ア)交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、市や人々の生活の様子を捉え、それらの変化を考え、表現すること。

(内容の取扱い) ア アのイの「年表などにまとめる」際には、時期の区分について、昭和、平成など元号を用いた言い表し方などがあることを取り上げること。

イ イのアの「公共施設」については、市が公共施設の整備を進めてきたことを取り上げる。その際、租税の役割に触れること。

ウ イのアの「人口」を取り上げる際には、少子高齢化、国際化などに触れ、これからの市の発展について考えることができるよう配慮すること。

(2) 教材について

台東区は昭和22年(1947年)に戦前の旧下谷区と旧浅草区が合併して生まれた。現在発足して73年になる。台東区の「台」は上野の高台、つまり旧下谷区を、「東」は上野台の東に位置する浅草、つまり旧浅草区を指している。

上野の山は明治になって西洋式の公園となり、博物館、動物園、図書館、美術館が次々に作られ、文化の町となった。平地の浅草は商業地、娯楽施設が多く、活気のある地域となっている。

区の変り変わりを理解できるようにするために、①台東区ができた頃(昭和25年1950年)、②にぎわいが消えた時期から「明るく豊かなうらおいのあるコミュニティーの実現」を目指して様々な取り組みが行われ転換期となった頃(昭和50年1975年)、③現在(令和2年2020年)の3つの時代の、交通の様子、土地利用の様子、公共施設の様子、くらしの様子、人口の移り変わりを比較して、変化の理由を考えられるようにする。

導入の写真は、上野広小路の3つの時期の様子の写真を活用する。奥には上野の山の緑が共通して見えることをもとに、交通や建物の様子に変化してきていることが分かるようにする。

5 単元構想

【本小単元につながる児童の学習経験】

第1単元「わたしたちの台東区の様子」では、土地の使われ方、交通、古くからある建物、公共施設について白地図にまとめた。本小単元では、その学習を基にして、台東区の移り変わりを調べる視点とする。本学級の児童は約15%が区域外から通学しているが、2年生の生活科の「町たんけん」の学習や地域の方をゲストティチャーとした学習などを通して、地域への愛着を高めてきた。そのような学習経験を想起し、台東区のこれらについて話し合うきっかけとしたい。

【研究内容1】 主体的に問いを追究する工夫		子供の主体的な問題解決の側面から				
		過程	想定される「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方		
<p>【問題意識を高める工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昔の台東区の写真や現在の台東区の写真を比較し、疑問や調べたいことを発表し、「台東区はいつからどのようにかわってきたのだろう。」という学習問題を設定する。 大正から昭和の台東区の暮らしの様子が分かる下町風俗資料館に見学に行った経験と昔の暮らしについての資料を結び付けて考える。 <p>【見通しをもつ工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1単元に作成した白地図を生かして学習計画を立て、見通しをもって学習できるようにする。 <p>【内容や方法を選択できる工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 暮らしの中の道具を調べる時間では、洗濯、暖房、音楽の変化の分かる資料を用意し、児童が調べることができるようにする。 <p>【協働的に取り組む工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> これからの台東区について考えたことを話し合い、まちの発展を願うことができるようにする。 <p>【学びを振り返る工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> 単元の節目に振り返りを丁寧に行い、自分の学習の成果を確認したり、新たな学習への意欲を高めたることができるようにする。 調べる時間の最後にタブレットを活用して年表にまとめ、学習したことを振り返ることができるようにする。 	つかむ	<p><学習問題をつかむ問い> 人々のくらしの様子やくらしの中の道具はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p><学習問題をつかむ問い> 3つの時代の台東区の様子はどのよう なところが違うのだろうか。</p> <p><学習問題をつかむ問い> 台東区はいつどのように変わってきた のだろうか。</p>	←	生活の様子や 道具の違いに 着目して	→	
	学習 問題	台東区の様子や人々のくらしは、どのよう				
	しらべる	<p><しらべる問い> 台東区の交通の様子はどのように変わ ってきたのだろうか。</p> <p><しらべる問い> 台東区の人々の仕事はどのように変わ っていったのだろうか。</p> <p><しらべる問い> 台東区的主要な公共施設はどのように変 わってきたのだろうか。</p> <p><しらべる問い> 台東区の人口や土地利用はどのように 変わってきたのだろうか。</p> <p><しらべる問い> 台東区のまちづくりはどのように行わ れてきたのだろうか。</p>	←	交通の様子の 違いに着目し て 仕事の様子の 違いに着目し て 公共施設の広 がりの違いに 着目して	→	
	まと める	<特色や意味を考える問い> 台東区の移り変わり年表からどのよう なことがいえるだろう。	←	時代ごとの様 子を比較して 考えて	→	
	つな ぐ	<発展や関わり方を考える問い> これからの台東区がどのようなまちに なるといいだろう。	←	自分たちの生 活と関連付け て考えて	→	
	【研究内容3】子供の学びを確か にする評価の工夫		子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かす評価			
			ワークシートに振り返りを記入し、もっと調べたいことを記入していく。問題解決的な学習の進め方を自覚し、振り返りを生かして、次の段階への見通しをもち学習をすすめる。			

単元で目指す児童像

- 写真や地図などの資料から台東区の移り変わりについて調べ、年表や文章などにまとめ、台東区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している子供。
- 交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して調べ、区の様子が発達したこと、人口が変化したこと、仕事や生活の様子が変わってきたことなどを関連付け、区や人々の生活の様子の変化を考える子供。
- 台東区の特徴やよさに気付き、自分たちも区民の一人として、これからのまちの発展を願う子供。

社会生活の確かな理解の側面から

見方・考え方を働かせる資料	子供が獲得できるようにしたい知識
<ul style="list-style-type: none"> ・下町風俗資料館 ・道具の写真資料 	昔から今に至るまで、道具は様々な工夫され使われており、人々の生活は便利になるように変化してきている。
<ul style="list-style-type: none"> ・戦後、昭和50年ごろ、現在の上野広小路の写真 	上野広小路のあたりは、昔から今に至るまで、建物は多く高くなり、交通は都電から車が増えるなど、様子が変わってきた。
<ul style="list-style-type: none"> ・台東区の歴史年表 ・昔の学校、仕事の写真、映像 	1947年に2つの区が合わさって台東区が誕生し、現在に至るまでに道具や生活の様子が変わってきた。

にかわってきたのだろう。

<ul style="list-style-type: none"> ・3つの時代の路線、道路地図と都電、2階建てバスの写真 	戦後は都電が走っていたが、都バスが走るようになり道路も整備された。新しい鉄道やめぐりんが通るようになり、どこへでも行けるようになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・個人商店の写真 ・昔の工場の写真 	専門店や手作業の工場が多かったが、近年はスーパーや機械の工場が増えた。
<ul style="list-style-type: none"> ・台東体育館の写真 ・図書館の地図 ・昔の公園の写真 	以前の公園には遊具がたくさんあった。公共施設が建てかえられてきれいになった。
<ul style="list-style-type: none"> ・台東区の人口推移と、小学生、高齢者の人口のグラフ 	台東区の人口は戦後をピークに減少し、現在では増加傾向にある。近年マンションが増え、台東区の人口は増えている。高齢者の人口が増え、子供の人口が減り、少子高齢化が進んでいる。
<ul style="list-style-type: none"> ・台東区役所の方の話 ・まちづくり年表 	台東区は昭和50年ごろに様々なイベントができ、まちの活気もどってきた。これからも台東区がにぎやかに発展できるようにまちづくりを行っている。

この70年の間に台東区は発展してきた。交通が広がり、公共施設が整えられてきた。ここ数年は人口が増えている、まちの様子も変わってきている。

<ul style="list-style-type: none"> ・台東区基本構想 ・台東区長の話 	台東区は歴史的な建物やイベントなど昔ながらのよさがある。そのよさを引き継いで、新しいイベントをやったり、新しい技術を生かしたりして、これからも発展してほしい。これからも子供からお年寄りまで誰もが住みやすいにぎやかなまちであってほしい。
---	---

指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）評価

- ・振り返りで見取った主体的に取り組む態度の評価を次の学習の支援に生かしていく。
- ・3つの時代を比較する活動から子供の疑問を把握し、学習問題を作り、学習計画を立てる時間の指導に生かす。

【研究内容2】

社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

【位置や空間的な広がりから見る】

- ・交通や公共施設の様子の移り変わりを学習するときに、地図を活用して、時代と共に交通や公共施設の区の広がりに着目することで、便利に移動したり、活用したりできるようになったことを理解できるようにする。

【時期や時間の経過から見る】

- ・交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して、3つの時代の様子を比較する活動をする。

【事象や人々の相互関係から見る】

- ・交通、土地利用、人口、公共施設、道具はそれぞれが関連して変化していることに着目できるように、年表にまとめた写真を活用して学習を進めていく。
- ・人口の学習をするときに、人口の変化と、今まで学習してきた、交通や建物の様子の変化と結び付けられるように人口のグラフとまちの写真を結び付ける活動をする。

【比較・分類・関連・総合して考える】

- ・3つの時期の様子を比較する活動を通して、区や人々の様子が変化したことを理解できるようにする。
- ・区民の一員として台東区のよりよい未来を考え、意見を交流する場を設ける。資料として「台東区基本構想」を提示し、現在の自分のたちの生活と関連付けて根拠をもとに、これからの台東区について考えられるようにする。

6 小単元の指導計画 (全 16 時間)

過程	ねらい (数字は時数)	主な学習活動 (○) 問い (◆) 予想される児童の反応 (・)	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つかむ	3つの時代における生活の道具を比べながら調べ、人々の生活の変化について理解する。①②③	<p>◆人々のくらしの様子やくらしの中の道具はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○料理の道具の変化を調べ、分かったことを発表する。 ・昔はかまどで炊いていた。今は炊いてから時間が経っても温かいご飯を食べることができる。</p> <p>○洗濯、暖房、音楽の道具の中から自分が調べたい道具の変化について調べ、調べたことを交流する。 ・今になるにつれて、電気を使う道具が多くなり、便利になっている。</p> <p>○3つの時代の食卓の写真を比べ、分かったことを発表する。 ・一緒にご飯を食べる人が少なくなった。 ・テーブルやテレビのように部屋にあるものが今と違う。 ・家族の食事のしかたが変わってきた。</p>	<p>◎下町風俗資料館のくらしの写真 □2学期に見学した下町風俗資料館の様子を想起し、今と昔の生活の違いに気付けるようにする。</p> <p>◎料理道具の変化についての資料 □児童が自分で調べたい道具を選べるようにする。</p> <p>◎洗濯・暖房・音楽についての道具の変化についての資料 【知技①】発言やワークシートなどの記述から「写真や文章などの資料から情報を集め読み取って調べ、道具の変化とともに人々のくらしも便利になってきたことを理解しているか」を評価する。</p>
	戦後、昭和50年ごろ、現在の台東区の上野広小路の写真を比較することを通して、区の移り変わりに関心をもつ。④	<p>○昔と今の台東区の写真を見て気付いたことを発表する。</p> <p>◆3つの時代の台東区の様子はどのようなところが違うのだろうか。</p> <p>・台東区ができたころは、道路に電車が走っている。電線もたくさんある。 ・建物が高くなって、にぎやかになった。 ・道路がコンクリートになり、車が増えた。</p>	<p>◎戦後、昭和50年ごろ、現在の台東区の上野広小路の写真 □ワークシートに3つの時代の写真を載せ、気付いたことを比べながら、様子を考えられるようにする。</p> <p>【知技①】発言やワークシートなどの記述から「3つの写真を比べて、時代と共にまちの様子が変わったことを理解しているか」を評価する。</p>
	台東区歴史年表や昔の人々のくらしの様子から、区の移り変わりについて学習問題を作り、既習の台東区の特徴を基に学習計画を立てる。⑤⑥	<p>◆台東区はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○台東区の歴史年表から台東区がどのように移り変わってきたかをおおまかに捉え、学習問題を作る。 ・今から74年前に2つの区が合わさって台東区ができた。 ・授業や遊びの様子が今と違う。 ・商店街の人が少なくなっている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>学習問題：台東区の様子や人々のくらしは、どのようにかわってきたのだろう。</p> </div> <p>○1学期に学習した台東区の様子を思い出し、移り変わりを調べる計画を立てる。 ・商店まち、交通、公共施設は74年で新しいものができて、変わっていると思う。 ・お寺や神社はきっと変わっていない。</p>	<p>□前時の学習を想起させる。</p> <p>◎台東区歴史年表 ◎昔の学校、仕事の写真、映像 【思考①】発言やノートの記述から「台東区の交通や建物の様子に着目して、問いを見出しているか」を評価する。</p> <p>◎第1単元で作成した白地図 【態度①】発言やノートなどの記述から「台東区の様子や移り変わりについて、予想や学習計画を立て、問題解決の見通しをもっているか」を評価する。</p>
しらべる	3つの時代の交通の地図を比べながら調べ、交通の様子の変化について理解する。⑦	<p>◆台東区交通の様子はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○3つの時代の交通の地図を見て、分かることをワークシートに記入し、発表する。 ・昔は都電という道路に電車が走っていた。 ・都電から都バスに変わった。 ・最近はめぐりんもできて、台東区内のどこでも移動できるようになった。</p>	<p>◎3つの時代の路線、道路地図 ◎都電、2階建てバスの写真 □写真と地図を示し、交通の分布と町の様子を関連付けて理解できるようにする。</p> <p>【知技①】発言やワークシートなどの記述から「地図などの資料から情報を集め読み取って調べ、台東区交通が広がってきたことを理解しているか」を評価する。</p>
	工場や店の様子を時代ごとに比べながら調べ、人々の仕事の変化について理解する。⑧⑨	<p>◆台東区の人々の仕事はどのように発展していったのだろうか。</p> <p>○台東区の工場数と店舗数のグラフを見て、工場もお店の数も減っていることを理解する。</p> <p>○昔と現在の商店の写真を比べ、分かったことを発表する。 ・昔より今の方が、商品が多い。昔の肉屋や八百屋が今のスーパーに集まっている。</p> <p>○昔と現在の靴工場の写真を比べ、分かったことを発表する。 ・昔は全部手作業だったけど、今は機械でたくさんの靴を作れる。</p>	<p>◎台東区の工場数と店舗数の推移のグラフ ◎昔個人商店と現在のスーパーマーケットの写真 □2学期に学習した販売の仕事を想起させ、昔の個人商店との違いを意識させる。</p> <p>◎昔の工場と現在のくつ工場の写真 【知技①】発言やワークシートなどの記述から「写真資料から情報を集め読み取って調べ、仕事や生活の様子が便利になってきたことを理解しているか」を評価する。</p>

	<p>図書館、体育館、公園の様子を比べながら調べ、公共施設の変化について理解する。 ⑩</p>	<p>◆台東区の主な公共施設はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○昔と現在の図書館の位置を示した地図を比べて、分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館が増えて行きやすくなった。 <p>○昔と現在の体育館の写真を比べて、分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きくてきれいになって、使いやすくなった。 <p>○昔と現在の公園の写真を比べて、分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊具が少なくなって、子供だけでなく、お年寄りも利用しやすくなった。 	<p>□区内巡りで見学した中央図書館を示し、地図と結びつける。</p> <p>◎図書館の地図</p> <p>◎台東体育館の写真</p> <p>□リバーサイドスポーツセンターのいろいろな施設を示す。</p> <p>◎昔の公園の写真</p> <p>【知技①】発言やワークシートなどの記述から「写真や地図などの資料から情報を集め読み取って調べ、たくさんの人が利用しやすいように公共施設が発展してきたことを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>人口のグラフと町の様子写真を結びつけ、人口の変化とまちの様子の変化を理解する。 ⑪ 【3年2組本時】</p>	<p>◆台東区の人口や土地利用はどのように変わってきたのだろうか。</p> <p>○台東区の人口の棒グラフから分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1945年からだんだん減ってきたが、2000年から少しずつ増えている。 <p>○年少人口と高齢者の人口の棒グラフから分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供は減っているが、お年寄りは増えている。 <p>○人口が増えていった理由を今までの学習をもとに考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通が便利になって来やすくなった。 ・公共施設やお店が新しくなり、生活が便利になった。 	<p>◎1945年から現在までの台東区の人口の棒グラフ</p> <p>◎台東区60才以上の人口の棒グラフ</p> <p>◎台東区の小学生の人口の棒グラフ</p> <p>□人口のグラフと町の様子写真を結びつけて示す。</p> <p>【知技①】発言やワークシートなどの記述から「写真やグラフなどの資料から情報を集め読み取って調べ、人口は戦後をピークに段々と減り、現在は増えていることを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>台東区のまちづくりについて調べ、様々な行事が実施され発展してきたことを理解する。 ⑫ 【3年1組本時】</p>	<p>◆台東区のまちづくりはどのように行われてきたのだろうか。</p> <p>○年表から、台東区のにぎわいもどってきた理由を考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいイベントをやった ・観光用の建物を建てた。 ・交通が便利になった。 ・国立西洋美術館が世界遺産に登録された。 	<p>◎台東区出来事年表</p> <p>◎行事の写真</p> <p>□年表の出来事を具体的に分かるように、写真や映像資料を見せる。</p> <p>◎台東区役所の方の話</p> <p>【知技①】発言やワークシートなどの記述から「年表や写真などの資料から情報を集め読み取って調べ、様々なイベントを行いまちの活気を取り戻してきたことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>ま と め る</p>	<p>台東区の移り変わりについて年表にまとめ、区や人々の生活の様子の変化を考える。 ⑬⑭</p>	<p>○台東区の移り変わりについて調べたことを年表に整理する。</p> <p>◆台東区の移り変わり年表からどのようなことがいえるだろう。</p> <p>○学習問題について、自分の考えをまとめ、考えを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この70年の間にいろいろなものができて台東区は発展してきた。 ・交通が広がり、公共施設が整えられてきた。 ・ここ数年は人口が増えていて、町の様子も変わってきている。 	<p>□まちの様子、交通、公共施設、くらしの道具、人口について観点ごとに分けて年表にまとめるよう助言する。</p> <p>【知技②】年表やノートなどの記述から「調べたことを年表にまとめ、台東区や人々の生活の様子は時間の経過に伴い発展的に移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p> <p>【思考②】や振り返りなどの記述から「交通の様子、公共施設の様子、人口の変化、仕事や生活の様子が変わってきたことなどを関連付けて考え、区や人々の生活の様子の変化を考え適切に表現しているか」を評価する。</p>
<p>つ な ぐ</p>	<p>これからの台東区がどのようなまちになってほしいのかを話し合い、台東区発展について、自分なりに考えようとする態度を養う。 ⑮⑯</p>	<p>◆これからの台東区がどのようなまちになるといいのだろうか。</p> <p>○これまでの学習と基に、これからの台東区がどのようなまちになってほしいのか考え、交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人がふえて、これからもさらににぎやかになってほしい。 ・たくさんのイベントをみんなが楽しめるまちになってほしい。 <p>○台東区基本構想や区長の話から、台東区がどのようなまちを目指しているのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供からお年寄りまで暮らしやすいまちを目指している。 ・新しい取り組みだけでなく、昔ながらのよさを大切にしている <p>○学習を振り返る。</p>	<p>□これからの台東区発展について考えるときにまちづくり政策や資料を根拠に記述するように声をかける。</p> <p>◎台東区基本構想</p> <p>◎台東区長の話</p> <p>□台東区基本構想の中から、子供に身近な政策を抜き出し、提示する。</p> <p>【態度②】振り返りなどの記述から「学習したことを基に、これからの台東区がより良くなっていくために必要なことを自分なりに考えようとしているか」を評価する。</p>

(1) 本時のねらい

台東区の人口の変化について棒グラフなどの資料を使って調べ、戦後減っていた台東区の人口が、現在は段々と増え、その増減に伴い、まちの様子も変化してきたことを理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	<p>○昭和 50 年と現在の不忍池から池之端を撮った写真を比べてみて、住んでいる人が増えてきたことを捉え、台東区の人口の変化について問いをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 50 年は東天紅しか高いビルがない。 ・今はマンションが増えているから、きっと人口も増えている。 <p>本時の問い：台東区の人口と土地利用は、どのように変わってきたのでしょうか</p> <p>○問いに対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020 年に 20 万人を超えた年表に書いてあった。 ・建物が高くなっているから、人口が増え続けてきたと思う。 	<p>◎昭和 50 年と現在の池之端の写真</p> <p>□高い建物が自分たちの住んでいるマンションであることに着目できるように助言する。</p> <p>□根拠をもった考えができるように人口の増減の予想と共に、理由を尋ねる。</p>
しらべる	<p>○台東区の人口の棒グラフを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1945 年から 1999 年まで人口がだんだん減っている。 ・1999 年から段々人口が増えて、2020 年には人口が 20 万人になっている。 ・なんで減ってきた人口が、増えてきたのだろうか。 <p>○台東区の高齢者の人口と年少人口の変化を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生は 1975 年のグラフが一番多いが、そこからだんだんと減っている。 ・高齢者の数は段々増えている。 <p>○台東区の人口が増えてきた理由を今までの学習を基に考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野広小路の写真を見ても高い建物が増えている。 ・図書館などの公共施設も多くの人可以利用できるように、増えているから人口も増えている。 ・交通が便利になったから人口も増えた。 <p>○台東区の人口の移り変わりについて区役所で人の話を聞く。</p>	<p>◎1945 年から現在までの台東区の人口の棒グラフ</p> <p>◎台東区 65 才以上の人口の棒グラフ</p> <p>◎台東区の小学生の人口の棒グラフ</p> <p>◎今まで作成してきた年表</p> <p>□公共施設の増加、交通の広がり、土地利用(マンションが増えたこと)を理由に人口が増えたことを考えられるように年表の写真を示す。(ICT の活用)</p> <p>◎台東区の人口についての話 (動画)</p>
まとめる	<p>○台東区の人口の変化について分かったことをまとめる。</p> <p>台東区の人口は 1960 年から減っていたが、交通が便利になったり、マンションがたくさんできたり、公共施設が新しくなったりしたことで、現在では増えてきている。</p>	<p>【知技①】 発言やワークシートなどの記述から「写真やグラフなどの資料から情報を集め読み取って調べ、人口は戦後をピークに段々と減り、現在は増えていることを理解しているか」を評価する。</p>

<板書>

本時の問い：台東区の人口はどのように変わってきたのでしょうか。

昭和 50 年 の池之端	現在の 池之端	台東区の人口の棒グラフ	<ul style="list-style-type: none"> ・1960 年からだんだん人口は減っている。 →なぜ減っているのか。 ・最近になって人口は増えている(20 万人) →なぜ増えたのか。 ・子供の数も少しずつ増えている。 ・高齢者の数は増えている。
<ul style="list-style-type: none"> ・昔は東天紅しかない ・今はマンションがたくさんある <p>→きっと住んでいる人が増えている</p>	<p>70 年前の上野</p> <p>50 年前の上野</p> <p>現在の 上野</p>	<p>昔の公共施設 昔の交通</p> <p>今の公共施設 今の交通</p>	<p>まとめ</p> <p>台東区の人口は 1960 年から減っていたが、交通や公共施設、お店が便利に利用できるようになり、現在では増えてきている。</p>
	台東区の子供、高齢者の棒グラフ		

(1) 本時のねらい

台東区のまちづくりについて年表や写真などの資料を使って調べ、台東区はにぎわいを取り戻すために、行事やイベントに力を入れ、まちおこしをしてきたことを理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	<p>○昭和 50 年に人口が減った時期の写真を見たり、当時の様子を知っている人の話を聞いたりして、その時の浅草の人がどのように感じていたのか想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜はお店が閉まってしまう、暗いなあ。 ・一人で歩きたくないなあ。 <p>本時の問い：台東区のまちづくりはどのように行われてきたのでしょうか。</p> <p>○問いに対する予想を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何かイベントを行ったのではないか。 ・住んでいる人がぐらしやすいようにしたのではないか。 	<p>◎昭和 50 年の浅草の写真</p> <p>◎浅草が衰退した頃を知っている人の話(動画)</p> <p>◎第 1 単元で見た、外国人観光客数</p> <p>□地域の人の思いを吹き出しにかけようワークシートを使う。</p>
しらべる	<p>○台東区の出来事年表を見て、分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花火大会やサンバカーニバルなどのイベントを新しくやっている。 ・新幹線や桜橋で交通が便利になっている。 ・交通の移り変わりで学習した 2 階建てバスもできた。 ・美術館や観光センターなど新しい建物もできている。 <p>○にぎやかになってきた理由を考え発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんイベントや建物ができて、みんなが来なくなる区になった。 ・交通が便利になっているところから来られるようになった。 <p>○台東区役所や区民の方の話から、まちづくりがどのようにおこなわれてきたかを調べる。</p> <p>○にぎわいがもどった浅草に対して、地域の人がどのように思っているのか想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るくてみんなが歩きやすいまちになってよかった。 ・これからもにぎやかな浅草であってほしい。 	<p>◎台東区出来事年表</p> <p>◎隅田川花火大会</p> <p>◎浅草サンバカーニバル(浅草)</p> <p>◎2 階建てバス(上野～浅草)</p> <p>◎新幹線(上野)</p> <p>◎桜橋(浅草)</p> <p>□年表の出来事を具体的に分かるように、写真や映像資料を見せる。</p> <p>◎台東区のまちの移り変わりについての話 (動画)</p> <p>□導入のワークシートに対応するような吹き出しのワークシートを使う。</p>
まとめる	<p>○本時のまとめをする。</p> <p>台東区は昭和 50 年ごろに様々なイベントができ、まちの活気がもどってきた。これからも台東区がにぎやかに発展できるようにまちづくりを行っている。</p>	<p>【知技①】発言やワークシートなどの記述から「年表や写真などの資料から情報を集め読み取って調べ、様々なイベントを行いまちの活気を取り戻してきたことを理解しているか」を評価する。</p>

<板書> **本時の問い：台東区のまちづくりはどのように行われてきたのでしょうか。**

1985 年の浅草

- ・人が少なく暗い感じがする。
- ・子供一人ではこわくて歩けない
- ・なぜまたにぎわいがもどったのか

台東区できごと年表

- 新幹線
- 桜橋
- 2 階建てバス
- 隅田川花火大会
- 浅草サンバカーニバル

- ・新しいイベントをやっている。
- ・新しい建物もできた。
- 行ってみたいくなる。
- ・交通が便利になった。
- 行きやすい。

まとめ
昭和 50 年ごろからいろいろなイベントをやって、まちの活気がもどってきた。



昭和50年（1975年）の不忍池



令和3年（2021年）の不忍池

道具

約70年前	約50年前	今
		

食事の仕方

約70年前	約50年前	今
		

上野広小路(うえのひろこうじ)の様子

約70年前 1949年 昭和24年	約50年前 1974年 昭和49年	今 2019年 令和元年
		

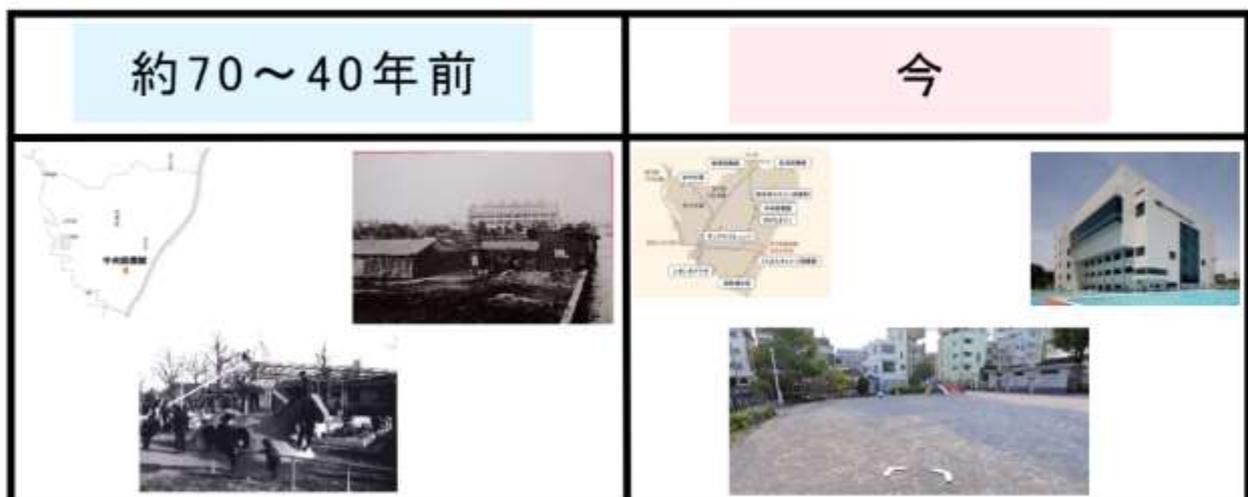
交通の様子



仕事(店と工場)の様子



公共しせつ(図書館、体育館、公園)の様子



谷中小学校の授業（1958年、昭和33年）



遊んでいる子ども（1970年、昭和45年）



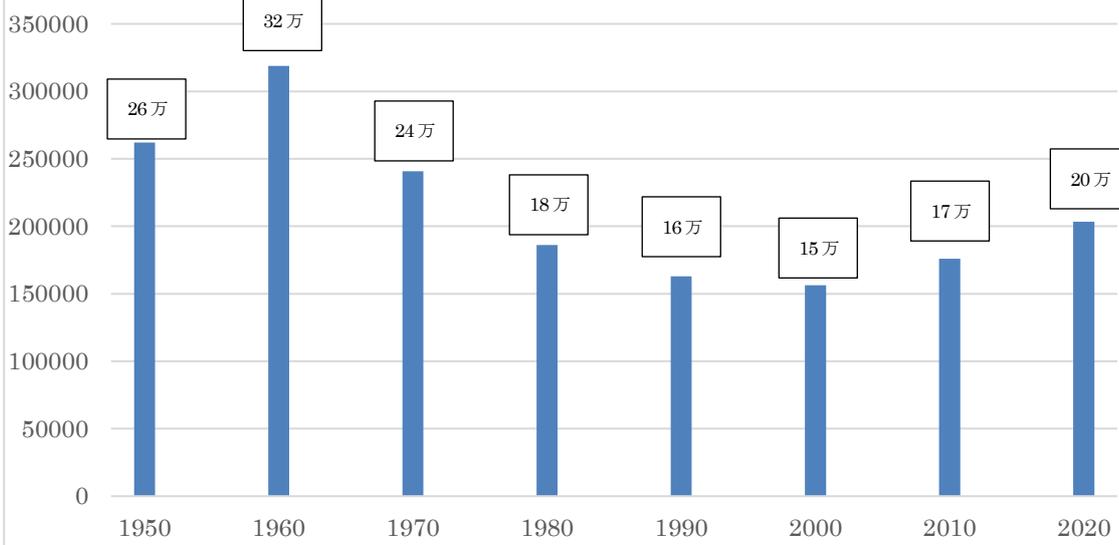
しょうてんがい
商店街 おかず横丁（1981年、昭和56年）



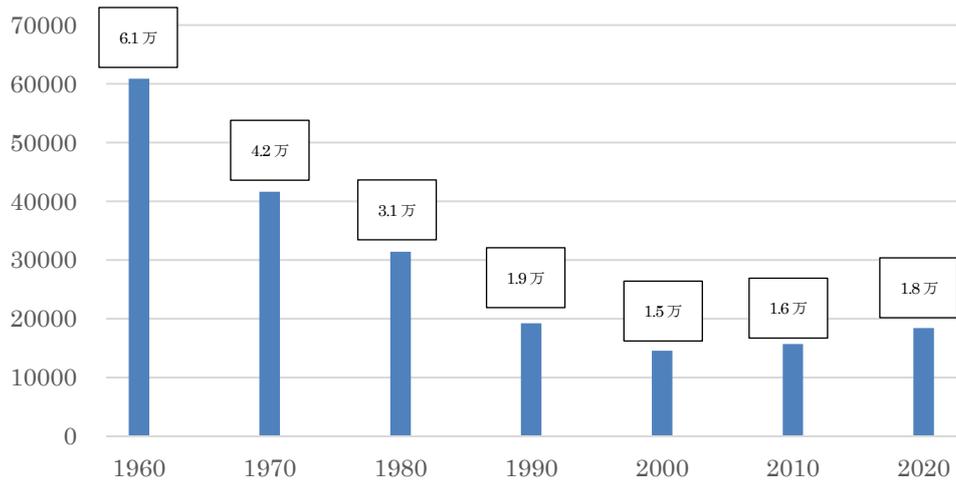
現在のおかず横丁



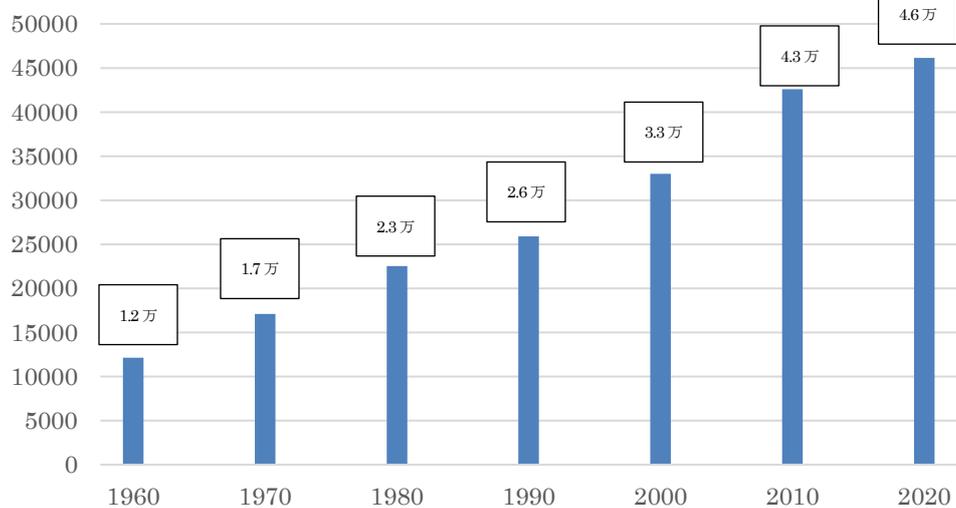
台東区の人口のうつりかわり（人）



台東区の年少人口（0～14歳）



台東区の高齢者の人口（65歳以上）



1985年 浅草



現在

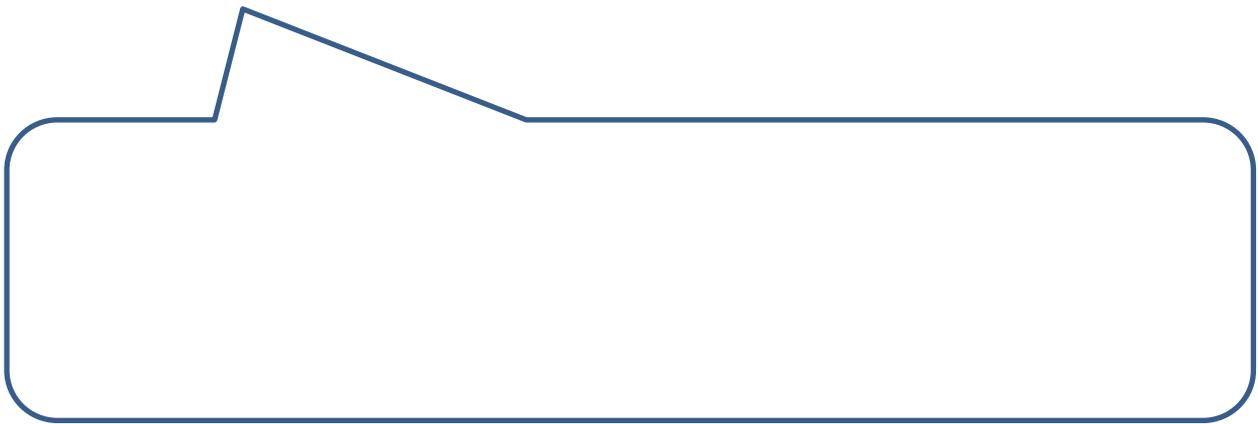




主事さんの写真



1985年の仲見世



栄養教諭の写真



今の仲見世

